

埼玉トヨペット Green Brave



2019 RACE REPORT

【#52 埼玉トヨペット GB マーク X MC】

2019年11月2日(土)～11月3日(日)

AUTOBACS SUPER GT Round8

MOTEGI GT250km RACE

ツインリンクもてぎ (栃木県茂木町)

■ ■ ■ ■ ペースが上がらず 13 位。ランキング 10 位で全日程を終了 ■ ■ ■ ■

SUPER GT の第 8 戦がツインリンクもてぎ (1 周 4.801km) で行われた。第 7 戦終了時点でのチームランキングは 10 位。今シーズン 4 度目の入賞を果たし、ランキング 5 位以内でシーズンを終えるのが目標だ。予選日の天候は晴。練習走行では吉田選手が 1 分 46 秒 841 をマーク。マザーシャシー (MC) 勢の 2 番手、クラス全体の 7 位につけ、セッティングが順調に進んでいることをうかがわせた。ノックアウト予選 (Q1) のドライバーは吉田選手。吉田選手はグリーンシグナルと同時にコースに入り、タイヤを温めながらペースを上げていく。吉田選手は 1 回目のアタックで 1 分 46 秒 822 のトップタイムをマーク。ライバルが吉田選手のタイムを上回ったため 4 位となったが、文句なしの Q1 突破だ。Q2 のドライバーは脇阪選手。脇阪選手は予選開始直前にクルマのセッティングを変更し、グリーンシグナルと同時にコースイン。4 周目に 1 分 46 秒 716 のトップタイムをマークするも、後続のクルマが次々とタイムを更新していく。脇阪選手は 5 周目に吉田選手のタイムを上回る 1 分 46 秒 617 をマークするも、順位は 11 位。トップスピードとパワーに優れる FIA GT3 勢が上位を占めた。

決勝日の天候は曇り。レース時間はシリーズ最短の 250km (53 周)。チームはスタートドライバーに脇阪選手を起用。順位を上げながらミニマム周回数 (16 周) をクリアし、ピットインのタイミングを探していく。タイヤは無交換が前提だ。脇阪選手はポジションをキープしながら 1 コーナーへ。後続の FIA GT3 勢をおさえて 11 位でオープニングラップを終了する。前に行くのは MC 勢予選トップの #25 86。脇阪選手は徐々に差を詰めていき、11 周目の 1 コーナーでオーバーテイク。10 位に順位を上げる。しかし、12 周目に後続に抜かれ、再び 11 位に。脇阪選手は 10 位の #88 ウラカンを攻め立てるが、抜き去ることができずに後続の #360 GT-R の追撃を受ける。チームは 16 周目にピットインを決断。脇阪選手は 17 周目の終わりにピットに入り、吉田選手に交代する。給油のみでリスタートを試みるも、後続のクルマとバタティングしてしまい、タイムを大きくロスしてしまう。吉田選手の 18 周目終了時の順位は 19 位。まだピットに入っていないチームやタイヤ交換を行うチームもあり、吉田選手は 20 周目に 15 位、23 周目に 12 位まで浮上。しかし、ラップタイムは 1 分 52 秒中盤から 53 秒前半とトップグループにおよばない。吉田選手は走行中も各部を調整しながらフィーリングの改善を試みるも、ラップタイムの向上は見られず、13 位でチェッカー。最終戦を入賞で締めくくることができなかったが、チームランキングは 10 位、ドライバーランキングは 9 位とそろってトップ 10 入り。確かな進歩を実感したシーズンであった。

決勝結果 (GT300)

#52 埼玉トヨペット GB マーク X MC

(脇阪薫一 / 吉田広樹)

決勝：13 位 (48 周、1 時間 31 分 50 秒 570)

予選：11 位 (Q2:1 分 46 秒 617)

GT300 決勝結果

順位	車名(車両)	周回数
1 位	:GAINER TANAX GT-R(日産 GT-R NISMO GT3)	49 周
2 位	:LEON PYRAMID AMG(メルセデス AMG GT3)	49 周
3 位	:K-tunes RC F GT3(レクサス RC F GT3)	49 周
4 位	:ARTA NSX GT3(ホンダ NSX GT3)	49 周
5 位	:グッドスマイル初音ミク AMG(メルセデス AMG GT3)	49 周
13 位	:埼玉トヨペット Green Brave マーク X MC(トヨタ マーク X MC)	48 周

天候:くもり, 路面:ドライ ※トップ 5 まで(出走 29 台)



DRIVERS VOICE

1周目の渋滞を避けるか迷っていたのですが、ちょうど合わせることができたので、混戦に突っ込むことを選択しました。タイヤ無交換の後半勝負だったので、クルマをぶつけず、無事に戻すというのがありました。あまりアタックをせず、順位をキープできたし、FIA GT3 勢があまり来なかったのも、ペースは良かったです。3年間の集大成のように、バランスの悪いところから、ある程度のところまで持ってこれました。長く在籍したチームで最後に（ピットイン時の）コミュニケーション不足というのは正直悔しいです。

(脇阪薫一選手)

ピットから出る時に他のクルマにひっかかってしまい、押し戻してもらって。もう一回出る時に今度は後ろからクルマが来て、もったいなかったです。運が悪かったでは済まらず、今後につながるようにしていかないと。このレースだけではなく、S耐なども同じです。自分のスティントでは正直ペースを上げられず、クリアで淡々と走っても52秒台の真ん中ぐらいでした。少しずつタイヤのフィーリングも落ちていったのですが、よくも悪くも少しずつ。タイムの上がり代も雰囲気も感じられず、全体的にペースが足りませんでした。

(吉田広樹選手)



MECHANIC VOICE

ありがとうございました。今日はレース距離が短いので、タイヤ交換がないのはわかっていました。イレギュラーなことはあったのですが、ピットワーク自体はうまくいったのかなと思います。最終戦を終えて今はほっとしています。(来年も参加する固定メカニックの星野学、竹内には) 全部お伝えしているので、完璧にこなしてくれると思います。

(大宮支店・佐藤 潤)



チームランキング GT300

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	55	ARTA	92.5
2位	96	K-tunes Racing	78
3位	4	GOODSMILE RACING&Team UKYO	71.5
4位	11	GAINER	70
5位	56	KONDO RACING	69
6位	65	K2 R&D LEON RACING	67.5
10位	52	埼玉トヨペット Green Brave	44.5

トップ6まで(全26チーム中)



埼玉トヨペット Green Brave PARTNERS 協賛各社



株式会社アシスト・ワン



アルパインマーケティング株式会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



埼群スリーボンド株式会社



トヨタ部品埼玉共販株式会社



株式会社ドーム



株式会社ハッピーライフ彩生

※50音順

【次戦予告】 11月23日~24日 auto sport Web Sprint Cup (※エキシビジョン) 富士スピードウェイ (静岡県)